

# 新松田駅周辺整備基本構想・基本計画について

問 まちづくり課 都市計画係 ☎ (84) 1332

**Q1** 新松田駅周辺整備基本構想・基本計画とはどのような内容で、いつ策定されたものですか？

**A1** 駅利用者の安全・安心の確保、定住の促進、中心市街地の活性化や交流人口の増加に向けて、駅前広場やアクセス道路、その周辺街区の再編などに関わる方向性を整理し、整備の早期実現を目指すもので、平成31年3月に策定しました。

**Q2** どうして、この構想と計画を策定しなければならないのですか？

**A2** 駅周辺の歩行者・車両の混雑緩和や、第5次・第6次総合計画策定に係るアンケートで多くの要望があったためです。

**Q3** どのような整備を行う計画ですか？

**A3** この計画は、大きく3つの事業に分かれており、駅前広場、南北自由通路を含めた橋上駅舎や集約施設の整備を行う計画です。また、南口については、駅前広場を部分的に供用開始しています。北口との交通分散の観点からも連携を図りながら、一体的な整備を推進していきます。

**Q4** 駅周辺整備事業にはいくらかかりますか？

**A4** 現時点での想定ですが、北口駅前広場整備事業で14億円、南北自由通路を含めた橋上駅舎事業で10億円、集約施設整備事業で25億円、総事業費49億円で計画しています。

**Q5** 整備費のうち、町の負担はいくらですか？

**A5** 総事業費49億円のうち、町の支出については、国や県の補助金などの活用や再開発組合の負担金もあり、約15億円を見込んでいます。そのため、基金条例を制定し、事前に毎年3,000万円の積立を行っています。

**Q6** 集約施設とはどのようなものですか？

**A6** 駅周辺の店舗や住宅について、各権利者の意向を踏まえながら民間事業者による再開発ビルなどの建設により、商業・居住・公益施設など都市機能を集約し、高度利用を図るものです。

**Q7** 今後の北口駅前広場の整備スケジュールはどうなりますか？

**A7** 現時点での計画ですが、令和5年度までに、詳細設計を行い、令和6年度に工事の着手、令和8年度の完成を目指し、各権利者や事業者の皆さんとの信頼関係を保ち事業を推進していきます。

## 新松田駅周辺整備事業予定期間

事業名	2021 R3年度	2022 R4年度	2023 R5年度	2024 R6年度	2025 R7年度	2026 R8年度	2027 R9年度	2028 R10年度	2029 R11年度	2030 R12年度	2031 R13年度
北口駅前広場整備事業 (14億円)	→ 詳細設計		→ 用地買収・補償 広場整備工事								
南北自由通路橋上駅舎事業 (10億円)	→ 小田急協議	→ 詳細設計		→ 仮設工事 本工事							
集約施設等整備事業 (25億円)	→ 再開発準備 組合設立	→ 再開発 組合設立		→ 詳細設計・権利変換 移転・仮店舗工事			→ 解体等準備工事 集約施設建築工事				
全体事業計画 (49億円)	→ 北口駅前広場整備事業				→ 南北自由通路・橋上駅舎事業			→ 集約施設等整備事業			